

《投稿》イタリアからのお便り 北イタリア、太陽の谷と山々の魅力

坂田由美子(元スクウェア編集部・イタリア在住)

山の天候は午前中が良好。私はケーブルカーを乗り継いで、約 3000m の雪山（氷河）と岩山を眺めに行きます。4000m級の雪山アダメッコ山や青い氷河のマルモラーダ山の眺望を楽しむのです。そしてお花畑を散策し、大好きな高山植物を撮影します。

アルプスの白アネモネと赤アネモネ（オバケみたいな奇妙な花びら）、かわいいアルプスのユキノシタ（ピンク色で苔の様にビッシリと咲く）、氷河の花と呼ばれる白と黄色のアルプスのキンポウゲ、バラの原種と言われているアルプスの森の精。8～9月に咲くと思われるチャボアザミ、香りの良いアザミ、エーデルワイスなどは白緑の葉やトゲトゲの葉が芽

ぶいたばかりでした。

まるで 20 代に戻った気分で、毎日約 2 時間のハイキングを楽しみます。

約 18 年前の 2～3 年間の初夏・秋には、コルティナ地方やカドーレ、コメリコ地方でフレスコ画を制作し、山々と湖のドライブを楽しみました。

太陽の谷から登った山々は、雪山と岩山がダイナミックに迫ります！ホテル代も安く、Bar のコーヒーも 1 ユーロと安め、イタリア庶民のヴァカンス先にピッタリの地です。しかも温泉がある！私の知る最高のヴァカンス先です！皆さんも、知られざるイタリアの山々に来てみませんか！



ハイキングを楽しむ筆者



アルプスの山々